

2020年12月1日

商品・サービス

投資信託基準価額一覧ページをリニューアルしました

当行では、2020年12月1日(火)より、お客さまの利便性向上のため「投資信託基準価額一覧サイト」をリニューアルしました。

リニューアルにより、スマートフォンやタブレット等のデバイスから、より快適にご利用いただけるようになりました。また、以下の新たな機能も追加しておりますので、ぜひご利用ください。

【各ファンドの基準価格推移チャートの表示】

各ファンド毎の直近の基準価額推移が一目で確認できるようになりました。

【シミュレーション機能】

- ・積立投資シミュレーション
- ・積立投資 VS 一括投資シミュレーション

積立投資シミュレーションでは、リターンチャートに加えリスクリターンマップを表示させることが可能です。

【ニュース配信機能】

従来のマーケット情報に加え、新たにニュース配信が加わりました。国内外の金融・経済に関するタイムリーなニュースがご覧いただけます。

なお、今回のリニューアルに伴う画面の見直し・統合により、URL が変更となりますので、ブックマーク等されている場合は、リニューアル後の画面より再度登録をお願いいたします。また、お気に入り登録につきましても、本リニューアル時にリセットされますので再登録をお願いいたします。

ご不便をおかけしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

当行は、今後もお客さまの幅広いニーズに対応できるよう努めてまいります。

投資信託基準価額一覧サイト

十六銀行 WBS証券

ファンド検索

ファンド一覧

ファンド検索結果

ファンド名	基準価額 (円)	前日比 (%)	1年 (%)	3年 (%)	5年 (%)	
パワース	9,292 (11/25)	+0.43	-0.06	-0.26	7.10	-4.55
パワース	12,350 (11/25)	-0.01	-0.43	-0.28	1.64	2.80

リニューアル後

基準価額

手数料・取引方法

分配金・情報BOX

リスク・リターン

お取り扱い

インターネット専用

つみたてNISA

販売停止

すべて

国内の株式

世界の株式

国内の債券

世界の債券

バランス

世界の不動産

単位型

公社債投資

国内の不動産

その他

116件 1件~100件を表示

選択したファンドを比較する

投信中のファンドのみ表示 ON OFF

株式投資・公社債投資

比較	基準価額 (円)	前日比 (%)	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	チャート	投資総額 (円)	積立回数
パワース	9,292 (11/25)	+0.43	-0.06	-0.26	7.10	-4.55				660	野村
パワース	12,350 (11/25)	-0.01	-0.43	-0.28	1.64	2.80	8.34	14.28		3,495	AM-O-n-e

シミュレーション機能

分散投資シミュレーション

ファンド概要

運用状況

お申込み情報

シミュレーション

積立投資シミュレーション

積立期間: 10年

積立金額: 30,000円

申込手数料: 有

過去にさかのぼり積立投資を開始したら

積立期間: 2012年10月~2020年10月

投資元本: 288.0万円

評価額: +35.5万円

資産価値: 323.5万円

一括投資 VS 分散投資シミュレーション

ファンド概要

運用状況

お申込み情報

シミュレーション

積立投資シミュレーション

積立期間: 20年

積立金額: 15,000円

申込手数料: 有

一括投資と積立投資の投資総額を比較したら

積立期間: 2002年10月~2020年10月

一括投資 (総額): +733.5万円

積立投資 (総額): +1230.0万円

ニュース配信機能

ニュース

国内株式市場

海外市場

為替市場

世界の市場動向

注目トピックス

国内株式市場

05/24 15:54

日経平均は続落、手控えムードからごう前感の強い展開

日経平均は続落。米5月製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値が予想外に悪化したことなどをを受けて、為替相場が1ドル=109円代前半まで円高に振れたことが爆発され、日経平均は49円安からスタートした。寄り付きを高値に、朝方は下げ幅を広げる場面があったものの、円高進行が一服すると15500円水準でごう前感の強い展開となった。ただ、大引けにかけて急落し、一時16471.37円 (前日比183.23円安) まで下落する場面があった。引き続き積極的な売買は手控えられ、東証1部売買代金は連日で今年最低となった。

大引けの日経平均は前日比155.84円安の16498.76円となった。東証1部の売買高は16億2783万株、売買代金は1兆6658億円だった。業種別では、保険業、鉱業、非鉄金属が下落率上位だった。一方、上昇したのはリブ・紙、空運業の2業種のみだった。

個別では、トヨタ自<7203>、三菱UFJ<8306>、ソフトバンク<9984>、KDDI<9433>、ファーストリテ<9983>など売買代金上位は全銘柄。本日引け後に今期業績見通しの発表が予定されていたソニー<6758>も下落。前日まで急伸していたノーリツ<7744>は利益確定売りに押され反落。クボタ<6326>は4%安と下げが目立った。また、日産自<7201>が株式売却を検討と報じられたカルソニック<7248>が急落し、タダノ<6395>、enish<3667>などとも東証1部下落率上位となった。一方、売買代金上位ではNTTドコモ<9437>が逆行高、日経平均構成銘柄では明電舎<6508>、日水<1332>、いすゞ自<7202>などが上昇。また、日本アジア投資<8518>、リズコム<7769>、あすか薬<4514>などが東証1部上昇率上位となった。

<HK>

05/24 12:27

中小企業株にも買い戻れ感、短期的な値幅取り狙いが中心

05/24 12:21

中小企業株にも買い戻れ感、短期的な値幅取り狙いが中心

05/24 09:28

日経平均は49円安でスタート、値上がり数が1100超、ソーせい、アモセラ堅調

05/24 08:28

アップルやバイオ関連、ソニーの業績見直しに關心